

新潟県

公民館月報



仮面

ひとつの仮面はあさ
ふたつの仮面はひる
みつつの仮面はよる
仮面をとり去ったときは
あしたもきょうも眠るだけ
爆発させて
ほむらたつ熱いたましいさえ
仮面の下の下
仮面よ目を醒ませ
そして汗と涙を流そう
そのとき
太ばちの乱打の
なんとほらにこたえるひびきか

(本)

(写真・石川県にて、本紙)

昭和51年9月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番町通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) 29 6111 内線 326】【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年 840円】

る場合の公と民を結ぶパイプの接点をどこにおくか。

答 現在の段階では、住民の生活課題の解決をめざす活動を公民館活動、地域の生活課題の解決をめざす活動をコミュニティ活動と兼用している。具体的な実施事例については、大会並みの資料の発表でも行われることと思いが、この接点を明らかにすることが本大会の大きなねらいでもあるので、大会での討議を契機にして、今後とも皆さんとともに研究をかねて、明らかにしていきたいと思う。

質問⑧ 「コミュニティは住民主体の地域活動である」と、とらえられているが、コミュニティ施設

の計画または建設の過程で、住民参加の機会、方法はどのようにされているか。

答 地区内の機関、団体の代表による「〇〇地区コミュニティセンター建設準備委員会」が組織され、建設の促進とあわせて施設、設備に対する住民の要望をききとめるようになっている。また、これらの委員は所属の町内、部落や団体の集いで住民や会員の意見を聞くことも、委員会での協議を通じても報告をしている。

すすむに従って、〇〇地区コミュニティ振興協議会へと発展的に解消するが、コミュニティ施設の計画策定、建設段階でのこのような努力が、コミュニティづくりの気運を高めるのに、きわめて効果があった。

質問⑨ コミュニティの考え方とらえ方と公民館の関係などについて参考となる資料を、教示いただきたい。

答 われわれ現場の公民館にあると思われるものについて、大会資料に「公民館・コミュニティ活動資料目録」を掲載したのでご参照を。

× ×

「コミュニティ」というコトバは、いつ、だれが、どこで、何のために使ったことがきっかけになっていのかについて簡単にまとめてみたい。

このコトバが使われはじめたのは、一九二〇年代のアメリカ農村社会においてであった。

そのころのアメリカ農村社会では、資本主義的産物経済の発達のために急速に外部社会との接触がなされ、住民の旧来からの生産、生活

が急激に広域化されていくようになっていった。ところがそのようになかたは広域化が進むにつれて、日本からの地域共同生活(R. M. Maester)であった。かれは、この区分が次第に不明確になり、つ



この四月から県社会教育課に参りました。四年ぶりです。以前と同じく公民館等社会教育施設の事務と視察教育の事務を担当しています。市町村には、



以前お世話になった方がまだまだ健在で心強い限りです。初見面の方ともこれからお近づき

われら意識

上村 捨二郎

が得られる願います。まじしくお願ひします。
四年間社会教育の仕事から離れて公民館を見えませんでした。あまり変化がないように感じていました。が、いまの仕事に携わってますます大きく変わりました。それに関連して、先日テレビ館が集む役割は何かがとっくす。以前は、地域づくりを問題にしてきたのだが、たが……などと考えているところです。それを関連して、先日テレビ館を見て感じたことがあり、また、高校野球で優勝した桜葉高校が東京箱根内を優勝パレードしているニュースです。地元町田市で待ちうけていた一般市民に「アナウンサーがきりぎりす。タビニューをしていました。また

コミュニティとは

われら意識・役割意識・依存意識

いには既存の地域性に支えられてきた住民の共同社会感情は喪失し、農村社会は徐々に解体化の傾向を深めていくこととなった。したがって、その困難な状況のなかからいかにして豊かな地域共同化を推進していくかが、大きな問題とされたが、それを学問的な視点からコミュニティ形成の意義と、その成員が多かれ少なかれ自己の生活の多様な側面において、他の成員と関係をもつ方向の、①われら意識 (We feeling) を導き、②役割意識 (role feeling) を導き、③依存意識 (dependent feeling) を導く、

このマッキーバーの提唱した以上 (dependent feeling) を深め、あつてこそ大切なのなのである。

このマッキーバーの提唱した以上 (dependent feeling) を深め、あつてこそ大切なのなのである。

このマッキーバーの提唱した以上 (dependent feeling) を深め、あつてこそ大切なのなのである。

このマッキーバーの提唱した以上 (dependent feeling) を深め、あつてこそ大切なのなのである。

地域社会の発展と豊かなくらしづくりにお手伝い

県内はもちろん、広く県外へのびた(だいし)のネットワークは111ヵ店。皆さまの明日の豊かなくらしを願って日々努力を重ねています。

くらしの夢を育てる



第四銀行

本店/新潟市 創立/明治6年

実践記録シリーズ

17

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

多様な文化団体

コミュニティセンターも活用

松代町公民館

松代町は住居八、二〇六八二、〇七二世帯(昭和三十年、人口一四、〇三三、世帯二、四〇二)面積九二km²で、人口一、七三二、四六二世帯の本町を中心に三九部落が山間に点在する過疎の町であります。

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

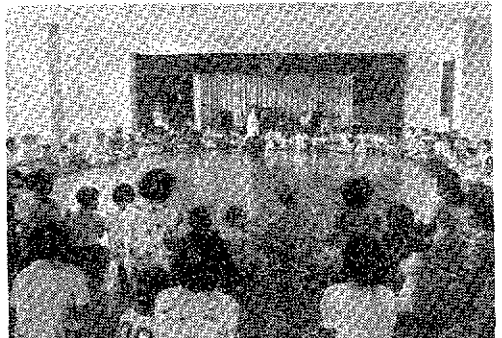
公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者



松代山岳スポーツ少年団残雪をふんで山へ登る



家庭教育学級親子ゲーム町体育指導員と保育園母の協力を得て

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館は公民館一館で、昭和四十七年度に山内から補助を受け、コミュニティセンターとして建設した鉄筋コンクリート造三階建て、二二八坪の町総合センターが館です。職員は館長と主事二名で、集会所としての管理のかたわら公民館活動を実施しています。ちなみに、昭和五十年度の施設利用状況は次のとおりです。

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係法令集

A5版、34ページ

一部二五〇円(送料別)

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係法令集

A5版、34ページ

一部二五〇円(送料別)

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係法令集

A5版、34ページ

一部二五〇円(送料別)

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者

公民館関係の諸会議に出席する公民館関係者



(実物大)



加茂市の成人式

「成人式」を盛會に実施するに
 たいして、若者たちは、戦前派が心配す
 るほどでない、むしろ現業を十分
 わきまを置いているという認識がで
 き、なごは一大収穫であったと自
 満足しております。

今日にして思うに、一年中で一番
 寒い一月、二月に夜おそくまで熱
 心に打ち合ふ会を重ねてくれた若者
 たちこそ、次代を背負って立つ力
 強い市民であることを肌で感じ、
 前途明るい光明を見出した次第
 です。

すべからず言明は形式にこだわ
 り必要以上な形式張り、理想の追
 求に走り参加者の意が反映できな
 い結果となりがちですが、何れも他

公民館事業は、人集めができれば半ば成功といわれるように、各
 体の意向は握ることができるものかどう
 か、建前と本音は違いますが、住民参加
 会」に再編成することとし、第二
 回会を二月二十六日夜に開
 催。実施までに二十六回もの会合
 を重ね新しい試みで第二十六回
 がら献身を惜しまないことを旨問
 自答しております。

みんなでやる成人式

二十六回も話し合った若者たち

「成人式」を盛會に実施するに
 たいして、若者たちは、戦前派が心配す
 るほどでない、むしろ現業を十分
 わきまを置いているという認識がで
 き、なごは一大収穫であったと自
 満足しております。

今日にして思うに、一年中で一番
 寒い一月、二月に夜おそくまで熱
 心に打ち合ふ会を重ねてくれた若者
 たちこそ、次代を背負って立つ力
 強い市民であることを肌で感じ、
 前途明るい光明を見出した次第
 です。

すべからず言明は形式にこだわ
 り必要以上な形式張り、理想の追
 求に走り参加者の意が反映できな
 い結果となりがちですが、何れも他



慈光寺で座禅

合同青年学級

フォークダンスと座禅と

公民館で作成した資料や
 文芸作品または雑誌料など
 をご送付ください。ま
 か、県内の皆さまへも紹介
 してまいりたいと思いま
 す。

投稿歓迎

感想文でも結構、折にふ
 れて気配にペンを走らせて
 ください。採用文には粗品
 を差し上げております。

— 編集部 —

目的
 青年学級合同行事の一環とし
 て、暑さ厳しい季節なお寺
 で座禅を組み精神的鍛錬をおこ
 なうことを目玉として、お寺で
 一拍し復食を共にした中での話
 し合いやレクリエーションを通
 して青年相互の親睦をはかるこ
 とを目的とした。

内容
 青年学級合同行事の中でも、
 県外研修とともに長年の伝統あ
 る行事である。

・期日・会場
 七月十七日(土)・十八日
 (日) 村松町野野「慈光寺」

・内容
 会場が遠いこともあり、土曜
 の午後六時に参加者(約六十
 名)が市民会館に集合しマイク
 ロバスに分乗して慈光寺に向か
 った。

うっそうとした杉木立の中の
 慈光寺は「静寂」そのもので、
 研修するには最適であった。

「ひとしほ……」と食事訓
 を唱えた後、食糧補給のメ
 食は、残さず食べて食べるのとい
 とがはらわられた。

夕食後、投光機で照らされた
 お寺の境内でフォークダンスが
 一いに舞い、お寺の境内を忘れ
 たかの如くはしゃぎまわった。
 にぎやかさが一変して、四
 十分間の座禅に入った。

足の痛みが徐々に強くなって
 くる座禅は、辛い中にも充実感
 があつて貴重な体験であつた。
 早々と精進し眠りに入った。
 日曜日の朝、枕元をかかげる
 露の音で起床。
 爽やかな朝の冷気の中で座禅
 に入るが、眠気不足のせいかコ
 シクリ、コクリなりをうにな
 る。必死にこらえて四十分間が
 んはる。

ラジオ体操、清湯、朝食後、
 住職さんの法話、そして、講演
 にはいり元青年研修センター
 所長の山崎寿吉先生から、「ふ
 きたに生きる」と題して二十
 千の中にも鏡さのあるお話し
 をお聞きする。

お昼から講演内容について分
 別会を打ち、「地域における青
 年」に現代社会に生きる青年等
 について活発な議論がなされ全
 体会のあと午後四時解散した。

・予算
 講師謝礼金・一、二、〇〇〇
 円(講師二人)
 会場借料・五、〇〇〇円
 参加費・一、〇〇〇円(職員
 食費代)

・反省
 青年学級生と団体の青年と
 横のつながりができ、今後相互
 のいきなりあつてという気運が
 できてきたという面ではかなり
 成果があつたが、未組織青年を
 集めよとの目的が予想してい
 たよりも果りが少なく、PR・
 会場・日程等に検討が残された

公民館の目的と理念

1. 公民館活動の基底は人間尊重精神の展開
2. 公民館活動の核心は生涯教育態勢の確立
3. 公民館活動の目標は住民自治能力の向上

「公民館のあるべき姿と今日的指票」より要約

私と公民館

行動と反省が身上

打開しよう 心の貧しさ

長岡市栖吉公民館長 春日 浩 二



一、最初に入あり

地区のみならず、社会教育的奉仕が私たちのスローガンです。そのためには、地区住民の希望や期待を正確にキャッチし、それに応える体制と実行力を必要とします。最初に入ありというところが地域の分館活動のポイントであると思います。人を求め、だがお金はありません。自発的にしかもチームワークよく、やってくださる人、こんな人はめったにおられないようです。実は沢山の分館活動の行動主になっていただく中央公民館連中の分館推進委員は二〇名で、活動の部門別に五部会をつくり、全員が何れかの部の正副部長に就任していただく

無任所委員は一人もいません。五の地区人口にとって多すぎることは、

- 部門は
- 1 郷土愛部 (郷土の過去、現在、未来を大切に)
 - 2 青少年教育 (青少年の健全育成)
 - 3 スポーツ部 (スポーツ、レクリエーション)
 - 4 婦人部 (生活改善など)
 - 5 広報部 (公民館の広報)

次に地区全体から各部とも六七名の部員を依頼して部を構成し、各部は独立体制をとってそれぞれが推進を担います。二年目からは逆に各部員の中から互選により正副部長を選出、五部門の正副部長合計一〇名で分館推進委員を構成する。あくまで上からの人選ではなく下からの選出を志向する。

旧来の分館協力委員の「与えられた事業に協力する」のではなく、自分たちが発案計画し推進してゆくのが分館推進委員である。協力推進の二字の違いが三六〇度の転換となる。結局分館推進委員は三〇名以上にふくれあがったが、二二〇世帯約八、〇〇〇人

の地区人口にとって多すぎることはない。

分館活動において評論家や批評家は存在しない。行動家と反省家だけが存在する。

戦前約七〇〇世帯であった稲妻村地区が現在約三〇〇世帯をもち新築住宅地に移動したが、新旧は自然互いに融和しつつあるのが現状であり、むしろ新しく居住した人はこの土壌の古い伝統や歴史を知ろうと思ひ、昔から居住している人は、新しい町や人達に学ぶべき点の多いことを発見する。「新しいもの」と古いもの「それは相互に刺激し合いながら第三の新しいものをこの地域に創りつつあるように見受けられる。

「私と公民館」の原稿募集
一 評判の雑誌特集してまいりました「実践記録シリーズ」は、これまでに四十編以上の記録と意見を、私と公民館があり、それが特色ある活館」は若干不足が少なく、編集動員がうかがえて、現場から苦心を要することゝなる。み

二、米百俵の現代化

分館活動は毎日顔を合わせる多くの地域住民が参加者であるから、あらゆる機会に接し、相支える。不安は全ての創設の母互理解を深めておく必要がある。農協あり、小中学校あり、婦人会あり、老人クラブあり、青少年育成会あり、体育振興会ありである。女性制行政などについて事はすまされないのである。

色んな計画や事業の立案段階は各町内会長さんぬきでは考えられぬ。地区内二〇町内会長さんか代り、それぞれの町内の公民館長さんになっていただく、お忙し中を協力いただき、そして分館のありのままの姿を互理解し、互にたく、負い財源も公表して相談し、世帯一〇〇円の年間推進費の負担を協力していただく。

こんな体質改善を行うことにより、公民館不用論が、まで聞かれ、危機感を脱却、漸く地区の人々に親しまれ、自分たちに必要な社会教育の機関として根を下しはじめた。

大へん参考になる好評をいただいた。この「実践記録シリーズ」は、これまでに四十編以上の記録と意見を、私と公民館があり、それが特色ある活館」は若干不足が少なく、編集動員がうかがえて、現場から苦心を要することゝなる。み

だが人生はいつもスタートラインに三無し(金なし、人手なし、力なし)分館活動はたえず不安をかかえている。根をはた人々の心は、信頼関係だけが分館を支える。不安は全ての創設の母である。ことを自分にいかにせよ、おどろおどろを遠く。

長岡市ではいま「貧しい」と教育を叫んだ先哲小沢虎三郎の米百俵精神を市長白から山民にアピールし、山本有「米百俵」を自身体として愚問の刊行を行いある機会を通じて、その精神の現代化をすすめている。現代の貧しさは一〇〇年前小林虎三郎が叫んだ時の物質的貧しさとは一見異なるが、むしろ物質的過剰繁栄の時代であるが、逆に精神的荒廃、心の貧困、教育の混乱はまさしく「貧しい」のである。

色んな情愛を持つことと動物にはない人間性の特権であることすれば、常に人間教育の原点にたもつことの中に、不安と悲観をのり超える一筋の道があることを切に思うこの頃である。

じかに文章で結構ですが、みなさんの公民館で活躍しておられる利用者の方々に依頼していただき、ご投稿をお願いします。掲載の分には、それぞれ記念品まであげさせていただきます。(編集長)

私と公民館

出合いを大切に

加茂市の成人式に感銘

加茂市社会教育委員 長谷川 マ サ



大切に二と百を重なりがきまる。歴法記念日に行われて来たが、この頃には出席人数も同じ和やかな話の音が華節的にもよく若者の門口し合いは進み、企画委員会五回でいさわしいといふことで五月三十一日委員会に切りかえられ、若々々々である。空は明るく晴れて新緑と準備は進められた。

期日は陽暦四月十日以来ずっとかな若者でいっばい。私も来賓として

三十周年の公民館に期待

小千谷市老人クラブ連合会長 阿部 武一郎

小千谷市公民館が創設三十周年、一般学習のほかにはクラブ活動を心がけたこと、またこれが日本公民館史のなかでも特筆すべきをなされたが、今日百五十名を数える産声を待たなければならぬ。公民館であることを思うとよきこびに堪えない。社会情勢から高齢者人口が増大してきたが、小千谷市公民館ではその需要をいかにや

当加茂市公民館主催の本年度の成人式は「みんなで作るもう成人式」のキャッチフレーズで、新成人とその両親、成人式検閲者、一般市民、社会教育関係者等で企画委員会が構成され、昨年十二月下旬改善の方向へ動き出したに始まる。私もはじめの頃二、三回出席して仲間に入れてもらったが、公民館はいつも夜の七時から九時までで、一日の勤務であるのに参加原公民館長以下社会教育関係の全職員張り切ってお顔を揃えられたの会議である。

右者達の集まりは最初は数少ないが、何となく熱意の積極的な発言がなされたが、参加者の主体性を前面に出して二回も進行も新成人白らの手で「出合いを楽しく

して参列の栄を得て若やいた気分になる。

いつもの年と内容も運営も変わり式典・記念講演・記念撮影・フィステバルと四部に分けて若者の祭典は最初披露に次第に和やかにくりひろげられて行く。服装の華やかさは例年通りであるが式典に遅刻したり遅参する人は減場する人が殆どない。ただ次の準備をする人のざわめきが少し気になる。

来賓席から眺める若者の横顔は式典や記念講演に、お慕道がまわって着席しているのではなく一日の流れの「一つ」をしっかりとふまえて楽しんでいく様に受けられて頼む。

午後二時「出合いを楽しく大切に」と成人白らの手で企画運営されている。「話し合いのプレゼント」や「食育物マイナー」や「ダンスコーナー」等を見て廻るとどこも明るい飾りつけやしらべの中に入成人式を主体的に受けとめようとする若人の気持が溢れ、晴やかな笑顔や話し合いがいっぱいであった。

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)



雄山閣から出版された「越後の陶磁」

越後の陶磁について
石川秀雄氏が集大成

越後の陶磁について
は、これまで誰もその余香を講べあげていなかった。したがってこれをまとめた資料もなかった。この未開の研究領域を脱し、今まで知られていなかった越後の陶磁の世界を初めて紹介したのが本書である。(序文)

著者の石川秀雄氏は、前水原町社会教育委員、戦後、弥彦村公民館三事を振り出しに県内各地の社会教育畑の現場を体験し、現在県立図書館に勤務、にいがた社会教育の編纂にもたずさわっている。

かたわら二十年間の余暇活動の主力を、越後路全土の無跡の探究に傾注し、その一つ一つを丹念に記し集大成の偉業をなした。

◎現代の陶磁
①陶磁の歴史と特徴
②越後の陶磁の歴史と特徴
③越後の陶磁の分類と分布と特徴
④越後の陶磁の調査と研究
⑤越後の陶磁の保存と活用
⑥越後の陶磁の普及と振興
⑦越後の陶磁の発展と展望

◎越後陶磁年表
昭和三〇〇〇年(原色版)
十二ページ・単行本六八ページ・五、五〇〇円。出版雄山閣。県公運または県社教協会で売ります。

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

必要性を痛感する。小千谷市公民館は「生涯教育推進と公民館活動」について真剣な取り組みにかかっていると聞く。公民館は一定地区に布設され、中学校単位あたりが望ましいとのことだが、広い市域をもつ市は地理的条件に格差をもつ市内最大の団体である老人クラブは各所に単位団があり、充実の度をいよいよ求める本館の高齢者学級であるが、不毛にしてその便所だといふものもある。

今後高層にもこの価値ある学習の場がつけられんことを期待しながら、小千谷市公民館の発展を祈るものである。

(小千谷市公民館三十周年記念誌より)

あの頃のこと



低き山のやまみみ越えて

月しみの

行きつく果を思ひ見ゆや

シベリヤの春はみじかい。ゆつ

くり来て、あわだたくしうめて

まう。そんな春を(昭和二十

二)、私たちが十二人は山の農場で

過した。

炬伏のほけい山煙でシヤガイ

王を植えたり格地をしたりとい

う、決して染な作業ではなかつた

が、鉄条網のない生活は何として

も有難かつた。建物と言っても、

農具などを入れる倉庫兼用の宿舎

が二棟あるだけだが、いやなマン

ドリン銃をもちつかせる警備兵も

いないのだから嬉しい。しかし、

周囲の深い原始林を思うと人里を

離れたという実感が、痛いほど胸

にしみる無言だった。

それだけに、我々の先住者だっ

たらしい一尾ッホのふさふさし

た、クリクリ目の可愛いシマリ

スが、大切な食糧をねらひに来て

も追ひ払う気にもなれない。

だが、たった一人で私たちが

いて来てくれた(ハ)オ位の白系ロ

ウシ人から、「ハラライカ」の弾だ

というのである。

き誇りて革命前の話しなど聞い

ていると、肉身と一體だまいる

ような心のぬくもりを感じるのだ

だった。

凶人の、現場監督のミチユフの

眼にも深ありき

嬉しきものかな

その日は、ノルマ以上の作業成

績だったというので、「嵐のミチ

ユフ」の異名のある現場監督の機

嫌が最高にいい、オーチン・ハラ

シユフの連絡だ。しかも、シガラ

ット一本つのおまけまでついて

いる、みんながまるで至列でも

いたくようにして喜んでる中で

私だけが、「私はほのめい」とい

う身ぶりをしてしまつた。たは

を救わない私としては別に悪意は

なかつたのだけれど、「ミチユフ

は、シヨックだったらしい。

肩をすくめて、両手をひろげ

りをしてはいたが、しばらくして

「日のないところ」を連れて行

く、「淋しそうな目つきで」「たは

をすわなひお前をそれだいたろ

う……だが俺の気持はそれだ

というのである。

シベリヤ捕虜記 ②

大島 順平

私は、このときの、身内をつき

ぬけるような何とも書けない感動

を入るにたがひがでできない。そ

して、その瞬間「ダイ・クリー

」(たはををんだきい)と言いな

らシユフのほうに手を差出して

いた、ロシア語のしゃべれない私

とては精神一杯の意志表示だった

のだ。

大島のシユフに私を肩の上ま

でかか上げて「ハラシユフ」を

ベラカンでは九月といつとも

言もなく勢いもなく

しみじみと

シベリヤに三度冬迎えんとす

きけ残された者のいぢぢぢぢぢぢ

しく全取容所をつつんで、原因不

明の発熱患者もまた生じたものだ

この日の煙草も、ロシア風政

治部員から呼び出された一段部隊

転入者二十一名だけで(特務機

関)情報部要員は一人もいなか

つた。

極寒の冬を目前にして、土地

者のロシア人でも、一番の重労働

だという冬時材採集の要員とし

て残された私たちだったが、不意

昭和二十二年の、夏も終りに近

い夕方のことだったと思ふ。(ミ

チユフは捕虜犯の流刑者だった

といふ)

言もなく勢いもなく

しみじみと

シベリヤに三度冬迎えんとす

きけ残された者のいぢぢぢぢぢぢ

しく全取容所をつつんで、原因不

明の発熱患者もまた生じたものだ

この日の煙草も、ロシア風政

治部員から呼び出された一段部隊

転入者二十一名だけで(特務機

関)情報部要員は一人もいなか

つた。

極寒の冬を目前にして、土地

者のロシア人でも、一番の重労働

だという冬時材採集の要員とし

て残された私たちだったが、不意

に今回は、一人の発熱患者も出

なかつた。

恥える以外に生き残るすべのない

捕虜の悲しい水い体験が、これま

で私たちを殺すやうなものである

う、一種の諦念となつて定着した

のかも知れない。

(元見附市今町、公民館重業)

第27回 新潟県公民館大会要項

(要約再録)

1. 趣 旨

明年度、本県ではじめて開催される全国公民館大会をふまえ、新しいコミュニティの形成と人間性の伸長に果たすこれからの公民館の役割を追求するため、第27回新潟県公民館大会を開催する。

2. 主 催

新潟県公民館連合会 新潟県教育委員会 柏崎市教育委員会 中越地区公民館連絡協議会

3. 後 援

新潟県市長会 同市議会議長会 同町村長会 同町村議会議長会 中越地方市町村連絡協議会 市町村教育委員連合会 県社会教育委員連絡協議会 社会教育主事連絡協議会 県社会教育協会

4. 主 管

中越地区公民館連絡協議会 柏崎市公民館協議会

5. 期 日

昭和51年9月24日(金)

6. 会 場

柏崎市 全体会場 柏崎市市民会館 分科会場 中央・西中通・中鱈石公民館

7. 参 加 者

市町村公民館長 同主事その他の職員 同運営審議会委員 市町村長市町村教育委員会委員および同事務局職員 同社会教育委員 同社会教育主事 同社会教育指導員 その他関係職員

8. 日 程

10時 開会式 11時 施設見学 13時 分科会 15時30 郷土芸能 16時 終了

9. 大会 主 題

公民館のコミュニティづくりに果たす役割

10. 分 科 会

・都市分科会・都市近郊分科会・農山漁村分科会

11. 分科会の研究主題

都市(都市近郊、農山漁村)におけるコミュニティづくりに果たす公民館の役割

12. 分科会の討議内容

公民館のコミュニティづくりに果たす役割は何か。

あとがき

柏崎市での県公民館大会が終るといよいよ来年十月に開催することになった全国公民館大会の実行委員会が結成されるはるばるになります。すでに第一回の準備委員会を終つており、新潟中央公民館を中心にして各県の公民館人のお力を借りて運営がはかれる方針です。

目前の県公民館大会が数年後の全国公民館大会への強いステップになることを期待しつつ、まずお返しが、この県大会の成功をみちびくよう努力いたします。